

# 令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32014

学校名：屯田北中学校

改訂のポイント		○自分で解決する喜びや解決したいという意欲が高まるような指導 ○「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるような指導		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら考え、学び合う力を高める生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・授業に、自分で目標や課題をもって学習に臨む。	<b>【成果】</b> ⇒意欲は高まりつつあるが、目標や課題をもって授業に臨む主体性が弱い。	<b>【課題】</b> ◇意欲的に主体的に学習に取り組もうとするような指導の充実。
	思考力・判断力・表現力等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・理由をはっきりさせて、まとまった内容の意見を書き、伝える。	<b>【成果】</b> ⇒知識を活用して考えたり、まとめることの必要性については、よく理解している。	<b>【課題】</b> ◇他者意識をもち、相手にわかりやすくまとめて伝える場面設定やその指導の充実。
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> ・新しく習ったことはくり返し練習する ・普段から計画を立てて勉強する	<b>【成果】</b> ⇒新しい学習課題に既存の知識を用いて取り組み、活用する力を伸ばそうとしている。	<b>【課題】</b> ◇基礎的・基本的な知識及び技能がさらに定着するような指導の充実。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 自分の考えを対話によって広げ、深めることで、目標や課題に向かう主体性を伸ばす学習活動の充実		
	具体的な改善策（取組）	○学習課題や学習内容を自分に関わる内容と捉えて、主体的に取り組むような授業展開や教材の工夫。 ○「学習内容」についての自分の気づきや思い、理解、新たな疑問を、他者意識をもって自分の言葉でまとめることができる指導の充実。 ○お互いにわからないことを気軽に質問できて、わかりやすく伝えあうことで理解が深まる「学び合い（協働学習）」。 ○「わかる・できる・活用できる授業」の学習内容の定着を家庭学習で図り、習慣となるような指導の充実。 ○家庭での学習の取り組み方について、個人懇談やPTA集会を活用して、働きかける。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用 ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標アンケートや学校評価アンケートなどの活用		